

MUGC／フィデリティ・トラストー

フィデリティ・北米経済圏・ 新成長株式ファンド

ケイマン諸島籍契約型外国投資信託／追加型

米ドル建 米ドルヘッジクラス受益証券
円建 円ヘッジクラス受益証券
円建 為替ヘッジなしクラス受益証券

交付運用報告書

作成対象期間 第8期

(2020年6月1日～2021年5月31日)

その他記載事項

運用報告書(全体版)は代行協会のウェブサイト(<https://www.sc.mufg.jp/>)の投資信託情報ページにて電磁的方法により提供しております。

ファンドの運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

管理会社

**ルクセンブルク三菱UFJ
インベスターサービス銀行S.A.**

代行協会員

**三菱UFJモルガン・スタンレー証券
株式会社**

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

MUGC／フィデリティ・トラストー フィデリティ・北米経済圏・新成長株式ファンド(以下「ファンド」といいます。)は、このたび、第8期の決算を行いました。

ファンドは、主としてアメリカ合衆国およびメキシコの証券取引所に上場する企業の株式への投資を通じて、長期的な元本の成長を目指します。カナダ等上記2か国以外の国の証券取引所に上場する企業の株式に投資を行うこともあります。当期につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第8期末		
	1口当たり 純資産価格	純資産価額
米ドル建 米ドルヘッジクラス	0.012975米ドル	21,665,305.81米ドル
円建 円ヘッジクラス	1.2428円	42,819,976円
円建 為替ヘッジなしクラス	1.3269円	870,249,028円
第8期		
	騰落率	1口当たり 分配金合計額
米ドル建 米ドルヘッジクラス	39.81%	0.000406米ドル
円建 円ヘッジクラス	38.42%	0.0256円
円建 為替ヘッジなしクラス	48.33%	0.0243円

(注1) 1口当たり純資産価格および純資産価額は、財務書類における数値を記載しており、取引日(評価日)付で公表されている1口当たり純資産価格および純資産価額の数値と一致しない場合があります。以下同じです。

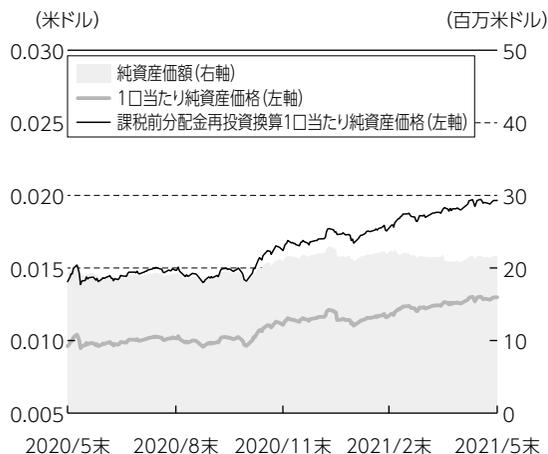
(注2) 騰落率は、公表されている1口当たり純資産価格に各収益分配金(課税前)をその分配を行う日に全額再投資したと仮定して算出された評価日付の課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格に基づき計算しています。以下同じです。

(注3) 1口当たり分配金の金額は、税引前の金額を記載しています。以下同じです。

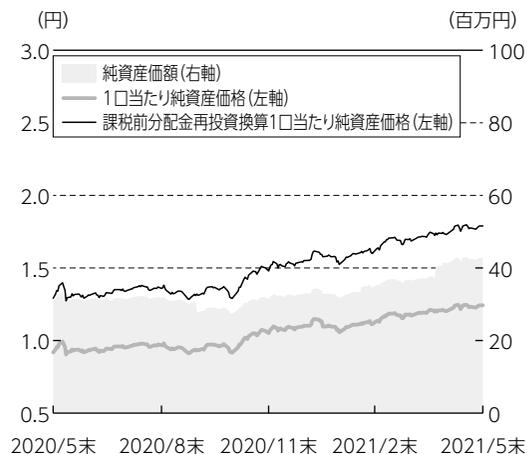
《運用経過》

当期の1口当たり純資産価格等の推移について

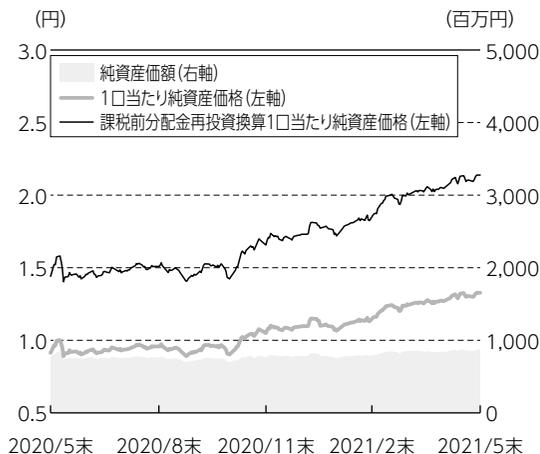
米ドル建 米ドルヘッジクラス



円建 円ヘッジクラス



円建 為替ヘッジなしクラス



(注1) 課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、各クラスの公表されている1口当たり純資産価格に各収益分配金(課税前)をその分配を行う日に全額再投資したと仮定して算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。以下同じです。

(注2) 課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、運用開始日(2013年7月12日)の受益証券1口当たり純資産価格を起点として計算しています。以下同じです。

(注3) ファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注4) ファンドにベンチマークは設定されていません。

	第7期末の 1口当たり純資産価格:	第8期末の 1口当たり純資産価格:	第8期中の1口当たり 分配金合計額:	騰落率:
米ドル建 米ドルヘッジクラス	0.009612米ドル	0.012975米ドル	0.000406米ドル	39.81%
円建 円ヘッジクラス	0.9188円	1.2428円	0.0256円	38.42%
円建 為替ヘッジなしクラス	0.9143円	1.3269円	0.0243円	48.33%

■ 1口当たり純資産価格の主な変動要因

当期中、ファンドの1口当たり純資産価格の変動に影響を与えた主な要因は次のとおりです。

(プラス要因) 情報技術、生活必需品の各セクターにおいて保有していた銘柄の値上がり等

(マイナス要因) ヘルスケア、資本財・サービスセクターにおいて保有していた銘柄の値下がり等

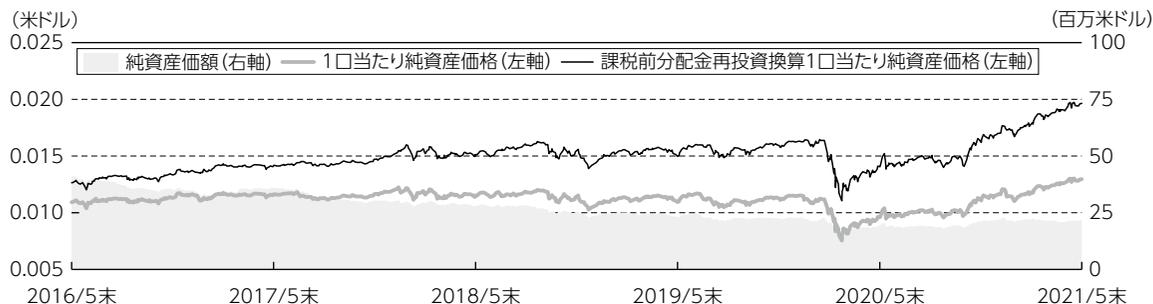
費用の明細

項 目	項目の概要	
管理報酬 (副管理報酬を含みます。)、 保管報酬および 管理事務代行報酬	純資産価額の年率0.12% (四半期毎に後払い)	管理報酬は、信託証書に定める管理会社としての業務の対価として、管理会社に支払われます。 保管報酬は、保管契約に基づく保管業務の対価として、保管会社に支払われます。 管理事務代行報酬は、管理事務代行契約に基づく管理事務代行業務の対価として、管理事務代行会社に支払われます。
受託報酬	純資産価額の年率0.01% (四半期毎に後払い) (最低年間10,000米ドル)	受託報酬は、信託証書に基づく受託業務の対価として、受託会社に支払われます。
投資運用報酬	純資産価額の年率0.80% (四半期毎に後払い)	投資運用報酬は、投資運用契約に基づく投資運用業務の対価として、投資運用会社に支払われます。
販売報酬	純資産価額の年率0.67% (四半期毎に後払い)	販売報酬は、投資者からの申込または買戻請求を管理会社に取り次ぐ等の業務の対価として、販売会社に支払われます。
代行協会会員報酬	純資産価額の年率0.10% (四半期毎に後払い)	受益証券1口当たり純資産価格の公表を行い、また受益証券に関する目論見書、決算報告書その他の書類を日本における販売会社に送付する等の業務の対価として、代行協会会員に支払われます。
その他の費用(当期)	1.01%	ファンドの設立、運営、管理および維持に関する一切の費用(仲介手数料、弁護士報酬、監査報酬等を含みますがこれらに限定されません。)として支払われます。

(注)各報酬については、目論見書に定められている料率または金額を記載しています。「その他の費用(当期)」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額をファンドの当期末の純資産価額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について

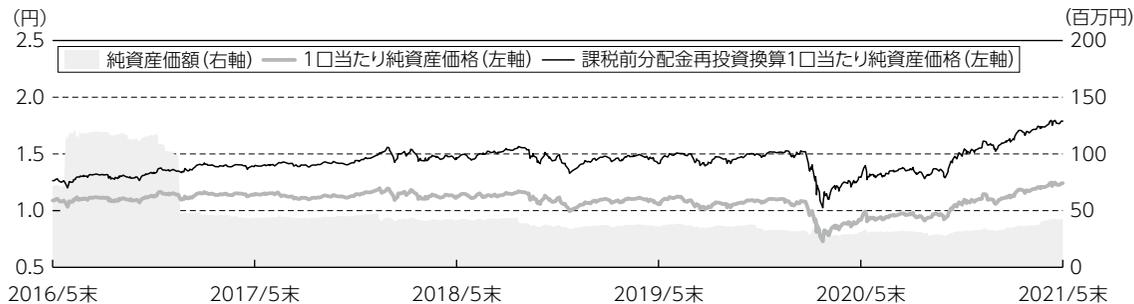
米ドル建 米ドルヘッジクラス



	第3期末 2016年5月末日	第4期末 2017年5月末日	第5期末 2018年5月末日	第6期末 2019年5月末日	第7期末 2020年5月末日	第8期末 2021年5月末日
1口当たり純資産価格 (米ドル)	0.010933	0.011539	0.011429	0.010941	0.009612	0.012975
1口当たり分配金額 (米ドル)	0.000595	0.000593	0.000882	0.000481	0.000759	0.000406
騰落率 (%)	-	11.26	6.67	-0.20	-6.08	39.81
純資産価額 (米ドル)	41,521,621.39	35,781,827.02	27,863,356.81	23,031,145.01	19,265,590.27	21,665,305.81

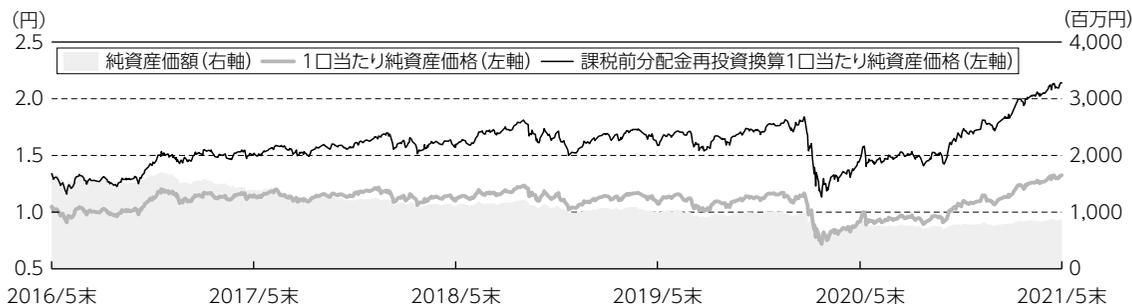
(注) ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。

円建 円ヘッジクラス



	第3期末 2016年5月末日	第4期末 2017年5月末日	第5期末 2018年5月末日	第6期末 2019年5月末日	第7期末 2020年5月末日	第8期末 2021年5月末日
1口当たり純資産価格 (円)	1.0901	1.1377	1.1150	1.0546	0.9188	1.2428
1口当たり分配金額 (円)	0.0597	0.0556	0.0775	0.0322	0.0526	0.0256
騰落率 (%)	-	9.71	4.77	-2.67	-8.60	38.42
純資産価額 (円)	71,894,251	43,566,048	41,493,347	35,909,521	30,905,435	42,819,976

円建 為替ヘッジなしクラス



	第3期末 2016年5月末日	第4期末 2017年5月末日	第5期末 2018年5月末日	第6期末 2019年5月末日	第7期末 2020年5月末日	第8期末 2021年5月末日
1口当たり純資産価格 (円)	1.0507	1.1304	1.1009	1.0732	0.9143	1.3269
1口当たり分配金額 (円)	0.1214	0.0415	0.0887	0.0423	0.0727	0.0243
騰落率 (%)	-	11.72	4.99	1.13	-9.22	48.33
純資産価額 (円)	1,740,348,575	1,377,586,516	1,103,795,345	977,859,354	772,159,599	870,249,028

投資環境について

●市場概況

米国株式相場は、記録的な景気刺激策、急速な景気回復および新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のワクチン接種の進展を受けて、当期を通じて上昇しました。アメリカ大統領選挙におけるジョー・バイデン氏の勝利および新型コロナウイルス感染症のワクチンメーカーが発表した重要な技術革新により、新型コロナウイルス感染症のパンデミックの悪影響後の投資家心理は改善しました。バイデン政権は、追加の景気刺激策を発表しました。連邦準備制度理事会(FRB)は、景気が急速に回復する中で低金利政策を再確認しました。ワクチン接種の順調な進展は、経済の再開を後押ししました。インフレ予想は高まっているものの、物価上昇圧力が一時的なものにすぎないのか、供給上の制約の正常化後も長期的な影響を及ぼすのかはまだ分かりません。当期、パフォーマンスが良かったセクターは、金融、素材、資本財・サービスセクターでした。

ポートフォリオについて

●運用結果

当期中、ファンドの基準価額は上昇しました。銘柄選択は奏功し、パフォーマンスに大きく貢献しました。情報技術セクター、生活必需品セクターおよび一般消費財セクターなどの銘柄ならびにエネルギーセクターをオーバーウェイトしたことがリターンを後押ししました。ラグジュアリーブランドの小売業者であるTapestryが、当期中のパフォーマンスに寄与しました。同社の主要ブランドはアジアで勢いを増している一方、同社のブランド、コーチは、米国市場において他のプレミアム・ブランドをアウトパフォームしています。さらに、同社のブランドはミレニアル世代や若い世代の人々の共感を得ています。モルガン・スタンレーも当期中好調な収益を背景に上昇しました。同社は収益源の多様化を続けており、富裕層ビジネスの拡大に引き続き注力しています。Marathon Petroleumは、当期の後半に上昇しました。Marathon Petroleumは、セブン・イレブンに対するSpeedwayの売却を完了したほか、自社株買いも発表しました。2021年初めからのエネルギー価格の上昇は、精油業者にとって追い風となりました。

CemexおよびBanortelはパンデミック後に回復したため、同社を保有していなかったことがパフォーマンスを低下させました。素材会社であるCemexは、2021年初めにメキシコにおける建設活動が活発化した後上昇し、Banortelは1月にメキシコの経済環境が改善した後上昇しました。高速道路・鉄道建設会社であるPinfra (Promotora y Operadora de Infraestructura SAB de CV)をオーバーウェイトしたことがパフォーマンスを悪化させました。同社は2020年第2四半期の収益が急落したことを公表しました。またパンデミックによるロックダウンにより、高速道路の交通量は回復しませんでした。プラス要因としては、同社はメキシコのいくつかの州において新しい高速道路を建設し、新規線路を敷設することを目指しています。Willis Towers Watsonは下落しました。保険引受業の利益率の拡大はそれなりに良好ですが、Aonとの合併が保留になっている結果、自律的な成長は低下しています(また同業他社を下回っています)。オーバーウェイトしていたDollar Treeは、当期中、予想を下回る収益見通しを発表した後に下落しました。同社は、2021年には運送費も上昇すると予想しています。しかしながら、経済の再開が続く中、同社の業績は今後数四半期のうちに回復すると予想されています。

● ポジショニングおよびポートフォリオの状況

現在の環境は、ファンドのパフォーマンスに好ましいものとなっています。米国株は、債券利回りやインフレ傾向が上昇しても、好調なパフォーマンスが続く可能性があります。景気回復およびワクチン接種の拡大が進むにつれて、市場の関心は、景気循環銘柄、バリュー銘柄およびリフレーションにより利益を受ける銘柄に移っていく可能性があります。ポートフォリオ・マネジャーは、一般的に過小評価されている事業で、過度のダウンサイドリスクを負うことなく、アップサイドを期待できるポートフォリオであると確信しています。

当期中、Intelを新規に組み入れました。パンデミックおよび在宅勤務への移行以来、パソコン市場が回復したことを受け、同社の株価は上昇しました。同社は、GPU市場に参入し、新しいマイクロチップをリリースすることにより、成長が期待されています。ハードドライブメーカーのWestern Digitalもポートフォリオに組み入れました。同社はパンデミックの低迷から回復しており、景気循環の谷から脱却して成長を続けると予想されています。一方、より良いリスク・リターンに資金を振り向けるためにPfizerおよびQualcommを売却しました。

分配金について

当期(2020年6月1日～2021年5月31日)の1口当たり分配金(税引前)はそれぞれ下表のとおりです。なお、下表の「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落日における1口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

米ドル建 米ドルヘッジクラス

(金額:米ドル)

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率 ^(注1))	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額 ^(注2)
2020/7/15	0.009901	0.000000 (0.0%)	-0.001223
2021/1/15	0.011417	0.000406 (3.43%)	0.001922

(注1)「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

対1口当たり純資産価格比率(%)=100×a/b

a=当該分配落日における1口当たり分配金額

b=当該分配落日における1口当たり純資産価格+当該分配落日における1口当たり分配金額

以下同じです。

(注2)「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額=b-c

b=当該分配落日における1口当たり純資産価格+当該分配落日における1口当たり分配金額

c=当該分配落日の直前の分配落日における1口当たり純資産価格

以下同じです。

(注3)2020年7月15日の直前の分配落日(2020年1月15日)における1口当たり純資産価格は、0.011124米ドルでした。

(注4)「分配落日」には、分配方針に基づき当該日における分配が可能であったが実際には分配金が支払われなかった日を含みます。以下同じです。

円建 円ヘッジクラス

(金額:円)

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率)	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額
2020/7/15	0.9452	0.0000 (0.00%)	-0.1299
2021/1/15	1.0961	0.0256 (2.28%)	0.1765

(注)2020年7月15日の直前の分配落日(2020年1月15日)における1口当たり純資産価格は、1.0751円でした。

円建 為替ヘッジなしクラス

(金額:円)

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率)	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額
2020/7/15	0.9340	0.0000 (0.00%)	-0.1985
2021/1/15	1.1002	0.0243 (2.16%)	0.1905

(注)2020年7月15日の直前の分配落日(2020年1月15日)における1口当たり純資産価格は、1.1325円でした。

《今後の運用方針》

ファンドは、引き続き、主としてアメリカ合衆国およびメキシコの証券取引所に上場する企業の株式への投資を通じて、長期的な元本の成長を目指します。ファンドはまた、カナダ等上記2か国以外の国の証券取引所に上場する企業の株式に投資を行うこともあります。

《お知らせ》

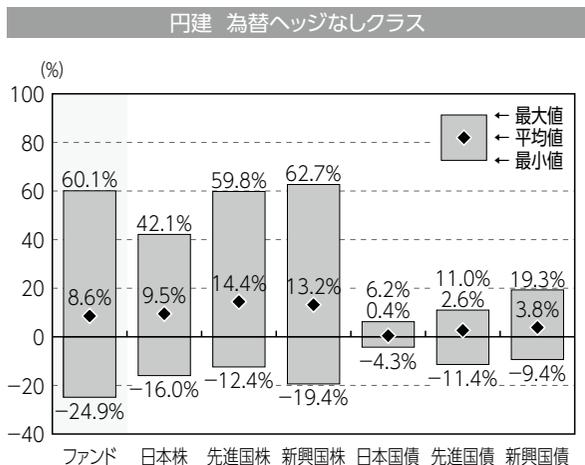
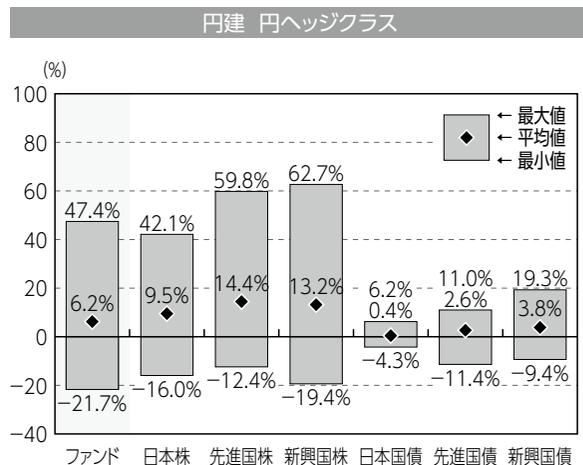
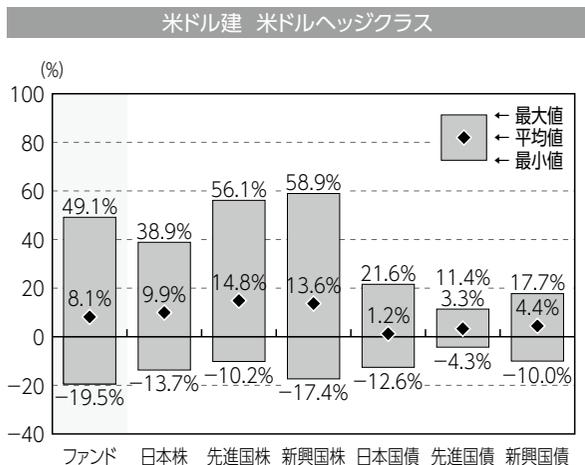
該当事項はありません。

《ファンドの概要》

ファンド形態	ケイマン諸島籍契約型外国投資信託／追加型
信託期間	ファンドは、2013年7月12日から運用を開始し、2023年7月31日(当該日が営業日でない場合には翌営業日)または管理会社はその完全な裁量により決定する当該日より後の日に終了します。 ただし、繰上償還により当該日より前に終了することがあります。
運用方針	ファンドは、主としてアメリカ合衆国およびメキシコの証券取引所に上場する企業の株式への投資を通じて、長期的な元本の成長を目指します。 カナダ等上記2か国以外の国の証券取引所に上場する企業の株式に投資を行うこともあります。
主要投資対象	アメリカ合衆国およびメキシコの証券取引所に上場する企業の株式
ファンドの運用方法	主としてアメリカ合衆国およびメキシコの証券取引所に上場する企業の株式に投資を行い、長期的な元本の成長を目指します。 カナダ等上記2か国以外の国の証券取引所に上場する企業の株式に投資を行うこともあります。 個別企業分析にあたっては、世界の主要拠点のアナリストによる企業調査結果を活かし、ポートフォリオ・マネージャーによる「ボトム・アップ・アプローチ」を重視した運用を行います。 「米ドル建 米ドルヘッジクラス」「円建 円ヘッジクラス」「円建 為替ヘッジなしクラス」の3つのクラスから構成されています。 投資する資産について、「米ドル建 米ドルヘッジクラス」は対米ドルで、「円建 円ヘッジクラス」は対円で、それぞれ為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。 「円建 為替ヘッジなしクラス」は、為替ヘッジを行いません。
分配方針	管理会社は、いずれのクラスに関しても、投資運用会社と協議の上、毎年1月15日および7月15日(当該日が営業日でない場合には翌営業日)に、純投資収益、純実現・未実現キャピタルゲインおよび配当可能資本から分配を宣言することができます。

(参考情報)

● ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(出所) 指数提供会社のデータを基にアンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業が作成

※全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

※2016年10月から2021年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

※このグラフはファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

<各資産クラスの指数>

米ドル建 米ドルヘッジクラス

日 本 株 … 東証株価指数 (TOPIX) (配当込)

先進国株 … MSCI-KOKUSAI指数 (配当込) (米ドルベース)

新興国株 … MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込) (米ドルベース)

日本国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (日本) (米ドルベース)

先進国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (除く日本) (米ドルベース)

新興国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (米ドルベース)

※日本株の指数は、各月末時点の為替レートにより米ドル換算しています。

円建 円ヘッジクラスおよび円建 為替ヘッジなしクラス

日 本 株 … 東証株価指数 (TOPIX) (配当込)

先進国株 … MSCI-KOKUSAI指数 (配当込) (円ベース)

新興国株 … MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込) (円ベース)

日本国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (日本) (円ベース)

先進国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (除く日本) (円ベース)

新興国債 … JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド

※新興国債の指数は、各月末時点の為替レートにより円換算しています。

《ファンドデータ》

ファンドの組入資産の内容

●組入上位資産

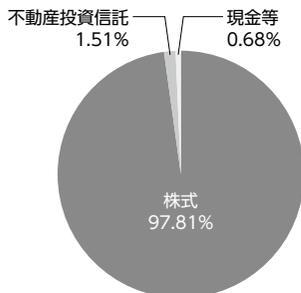
(組入銘柄数: 49銘柄)

(2021年5月31日現在)

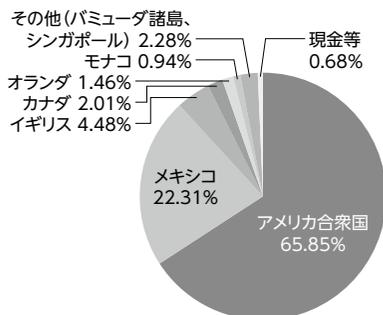
	組入比率
BERKSHIRE HATHAWAY INC INC-CL B	5.30%
BECLE SAB DE CV	3.88%
GRUPO MEXICO SAB DE CV	3.83%
MARATHON PETROLEUM CORP	3.81%
WELLS FARGO & CO	3.49%
ORACLE CORP	2.98%
QUALITAS CONTROLADORA SAB DE CV	2.94%
PROMOTORA Y OPERADORA DE INFRAESTRUCTURA SAB DE CV	2.87%
TAPESTRY INC	2.77%
PEARSON PLC	2.56%

(注) 組入比率は純資産価額に対する当該組入資産の評価額の割合です。端数調整方法の相違により、運用報告書(全体版)に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。以下の各グラフも同様です。

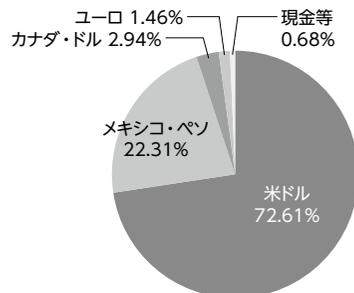
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



(注1) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

(注2) 上記の比率は、純資産価額に対する当該資産の金額の割合を四捨五入して記載しています。したがって、合計の数字が100%とならない場合があります。

純資産等

第8期末			
クラス名	純資産価額	発行済口数	1口当たり純資産価格
米ドル建 米ドルヘッジクラス	21,665,305.81米ドル	1,669,738,402口	0.012975米ドル
円建 円ヘッジクラス	42,819,976円	34,453,638口	1.2428円
円建 為替ヘッジなしクラス	870,249,028円	655,875,519口	1.3269円

(単位:口)

第8期中			
クラス名	販売口数	買戻口数	発行済口数
米ドル建 米ドルヘッジクラス	146,315,647 (146,315,647)	480,866,787 (480,866,787)	1,669,738,402 (1,669,738,402)
円建 円ヘッジクラス	4,546,034 (4,546,034)	3,729,531 (3,729,531)	34,453,638 (34,453,638)
円建 為替ヘッジなしクラス	2,799,524 (2,799,524)	191,480,437 (191,480,437)	655,875,519 (655,875,519)

(注) ()の数は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。